

原信ナルスカップ  
第28回全日本ドッジボール選手権 新潟県大会

＊ ＊ ＊ 競 技 規 則 ＊ ＊ ＊

1. 本競技規則は、表記大会の競技規則について定めます。
2. 本大会は、一般財団法人日本ドッジボール協会公式ルール、本大会要項、本競技規則、及び大会注意事項により行う。
3. 選手・監督・コーチ・マネージャー並びに大会役員・運営スタッフ・審判員は、競技フロアに降りる際は、体育館シューズを履くこと。  
(今大会は上記の者以外は、競技フロアに入れません。)
4. 審判員は、応援席への出入りを禁止する。
5. チームのメンバー構成について  
平成30年度一般財団法人日本ドッジボール協会の登録チーム内の登録メンバーの中から3年生から6年生の男子のみまたは男女混合の12名以上20名以下を大会に選抜エントリーしたメンバーで構成する。  
但し、3年生のみのメンバー構成は不可とする。
6. 試合の人数・メンバーについて
  - ① 試合は、大会エントリーメンバーの中から12名で試合を行う。
  - ② 但し、3年生のみでの試合は不可とする。
7. 選手・役員の出場及びメンバー票について
  - ① 試合毎にメンバー票をアリーナ中央の待機場所の係員に提出し、記載事項と実メンバーと指導者資格者のチェックを受けること。提出がない場合やメンバー相違、指導者資格者が各試合に不在の場合は、当該チームを棄権とする。
  - ② チームの試合時に選手が付ける番号は、大会エントリーと同じ番号を付けること。
  - ③ メンバーが当該試合を欠場する場合は、オーダー用紙の欠場メンバーを赤線で抹消すること。欠場メンバーの選手番号は欠番とする。
  - ④ 監督・コーチ・マネージャーも当該試合に欠席の場合は、オーダー用紙の欠席役員を赤線で抹消すること。チーム役員の当日代理または補充は原則認めない。  
ただし、前日までにJDBAの役員登録変更を完了した場合は認める。その場合、必ず登録内容の写しを大会当日、競技委員長に提出すること。提出なき場合は、認めない。  
また、各試合において、指導者資格を有するチーム役員が不在となるような役員の変更は認めない。  
※指導者資格を有する役員が不在にならないように留意すること。  
※チーム役員は本人確認を受けなければならない。(大会注意事項参照)  
※登録証(番号記載済み)不携帯のチーム役員は、試合時にベンチには入れない。  
よって、唯一の指導者資格を有する役員が登録証を不携帯の場合も、チームは、当該試合は棄権となる。

8. 試合方法について

- ① 試合方法は、大会要項及び本競技規則により行うこととする。
- ② 1リーグ6チーム及び5チームの2グループによる試合を行い、各リーグの全チームがトーナメントに進出する。
- ③ 予選リーグは、ランニングタイム制の5分1セットマッチ。
- ④ トーナメント戦の1回戦は、ランニングタイム制の5分1セットマッチとする。
- ⑤ 準々決勝及び準決勝は、ランニングタイム制の5分3セットマッチの試合を行う。
- ⑥ 準々決勝での敗者（4チーム）によるトーナメントの1回戦は、ランニングタイム制の5分1セットマッチを行う。
- ⑦ 5位6位決定戦、及び7位8位決定戦は、ランニングタイム制の5分1セットマッチの試合を行う。
- ⑧ 3位決定戦は、ランニングタイム制の5分3セットマッチの試合を行う。
- ⑨ 決勝戦は、実働制の5分3セットマッチ。

9. 勝敗、順位について

(リーグ戦)

- ① 試合終了時に内野人数の多いチームを勝ちとする。
- ② 試合終了時に内野人数が同数の場合は引き分けとする。
- ③ 次の方法により各リーグ内の順位を決定する。
  - ア. 勝ち点制を採用し、勝ちを2点、引き分けを1点、負けを0点とし、その合計の多いチームをリーグの上位とする。
  - イ. 勝ち点と同じ場合は、各試合終了時の内野人数の合計が多いチームを上位とする。
  - ウ. それでも決定しない場合は、直接対決の勝者を上位とする。
  - エ. それでも決定しない場合は、対戦相手チームの内野人数の合計の少ないチームを上位とする。
  - オ. それでも決定しない場合は、ランニングタイム制の5分1セットマッチの試合（サドンデス有）の決定戦を行う。

(トーナメント戦)

- ① 試合終了時に内野人数の多いチームを勝ちとする。
- ② セット終了時に内野人数が同数の場合は、そのままの状態ジャンプボールをし、最初にアウトを取ったチームを勝ちとする。（サドンデスゲーム）
- ③ 3セットマッチの試合では2セット先取したチームを勝ちとする。

10. 試合球について

ミカサ製MG-JDB 及びモルテン製D3C5000を併用使用する。

11. ボールを使った練習について

- ① ボールを使った練習は、アリーナで決められた時間内でのみ行うこと。
- ② その他の場所でのボールを使った練習は厳禁とする。

12. 表彰について

- ① 1～4位を表彰する。
- ② 1位チームは、8月・群馬県で開催される全国大会出場への推薦権を得る。
- ③ 2～5位チームは、8月・富山県で開催される中日本ドッジボール大会の出場への推薦権を得る。但し推薦については下記とする。
- ※ 上記②、③においてはチーム全体（選手・役員・応援等）のマナー等も考慮し、全国大会や中日本ドッジボール大会に推薦されるに値するチームであることとする。
- ※ 上記②、③において、場合によっては全国大会や中日本ドッジボール大会への出場が推薦されないこともある。

13. 試合時の服装について

- ① JDBAのユニフォーム規定に基づいたユニフォームを着用すること。
- ② ユニフォームには規定に基づく大きさ・位置での1～20番までの番号が記されていること。  
※大会エントリ時に規定に「合格」している「ユニフォームチェックリスト」を提出していること。
- ③ チーム役員が、選手と同じユニフォームを着用し番号を記す場合は、21番以降の番号とすること。

14. その他

本大会タイムテーブルの第一試合、準決勝、3位決定戦及び決勝戦のみベンチ前整列とし、その他の全試合は、センターライン集合・整列とする。

<新潟県協会の本大会特別規則>

- 1. 応援席や試合ベンチでは、直接音の出る用具や叩いて音を発する用具など全てを禁止する。（うちわ、メガホン等）
- 2. 本大会では、応援席の応援団を含めて、チームマナーが不適切と思われる場合は場合によっては、試合中でも試合を停止し、不戦敗とすることや以後の出場を停止する場合もある。

【チームマナーが不適切とは】

チーム代表者・チーム登録役員（監督・コーチマネージャー）や選手及びチーム登録以外のチーム内指導者や応援団及びその他のチーム関係者が

- ① 審判員や大会運営役員等に対して、または試合中の判定等について、苦情・抗議・暴言・暴力行為を行うこと。
- ② 自チーム及び他チームの選手や役員に対して、苦言や苦情・抗議・暴言を発したり、体罰・暴力行為を行うこと。
- ③ 試合時、応援席からのチームへの過度の指示など。
- ④ 試合場や会場施設及び設備等を損壊またはそれに準ずる行為を行うこと。
- ⑤ その他、大会運営を妨げる行為を行うこと。